

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第158回

令和元年10～12月期 実績

令和2年1～3月期 予測



34商工会地域(白部分)

令和2年2月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

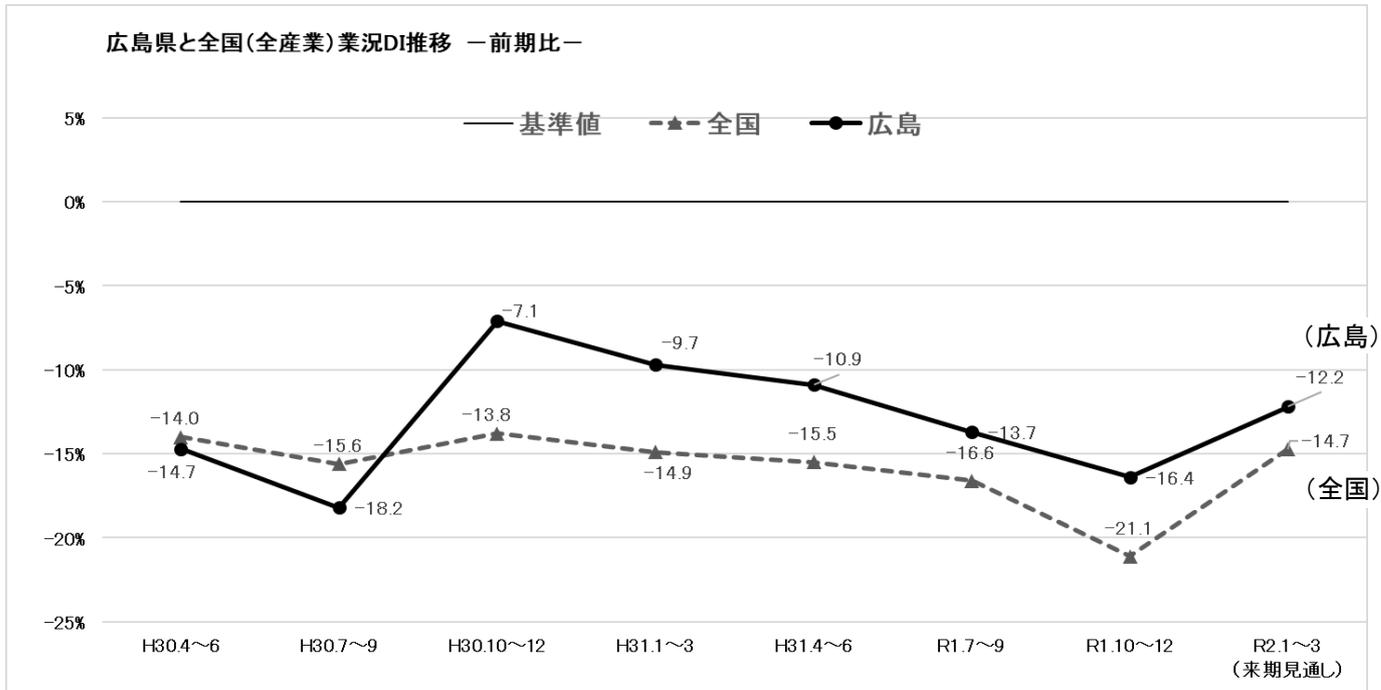
| | |
|---------|--|
| 1. 調査趣旨 | <p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p> |
| 2. 調査対象 | <p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸太田町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 225社</p> <p>製造業49 建設業40 小売業70 サービス業66</p> |
| 3. 調査方法 | 経営指導員による訪問面接調査 |
| 4. 調査期間 | 令和元年10月～12月期実績、及び令和2年1月～3月期の見通し |
| 5. 調査時点 | 令和元年11月15日 |

6. DIとは
- Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準
- 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他
- この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>
 - 中国財務局 (中国地方の経済情勢)
<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

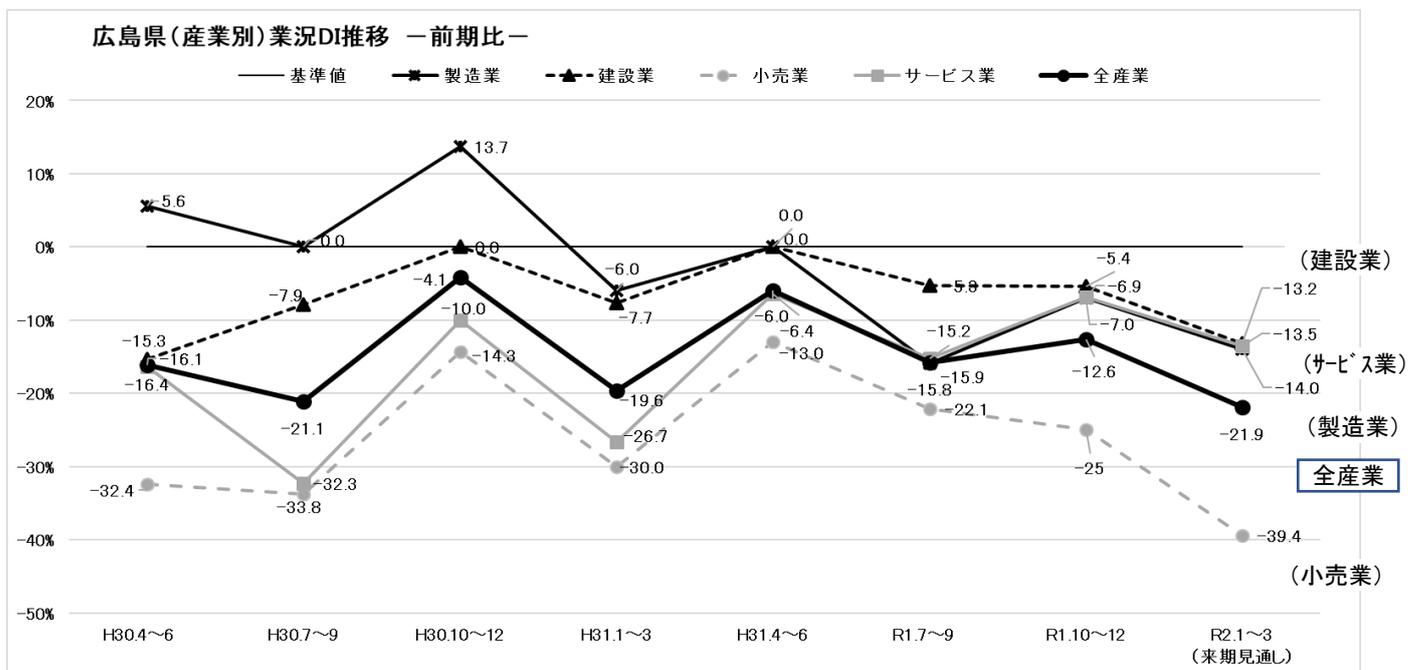
1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-13.7から-16.4(前期差2.7ポイント)と小幅に下方推移し、全国DIとともに、4期連続で低下した。来期は広島県、全国ともに回復する見通し。



2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県産業別では、建設業、小売業で下方推移、サービス業、製造業では上昇傾向に。来期は、すべての業種で下方推移する見通しで、特に小売業では大幅な低下の見通し。



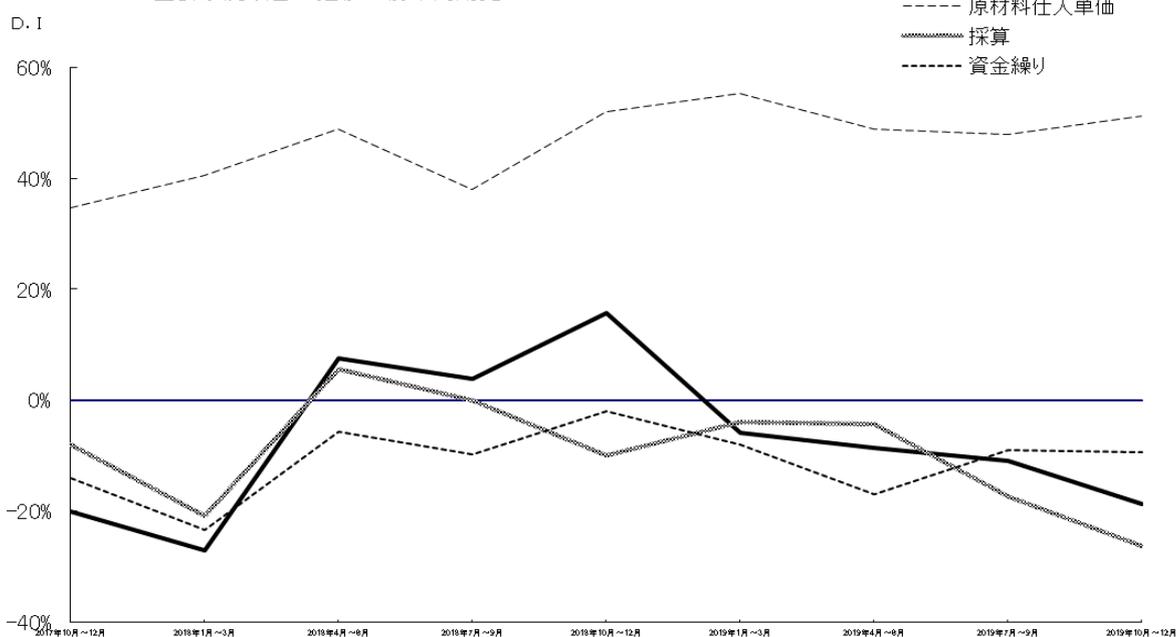
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

| 主要項目 | （前期） | | （今期） | | （来期見通し） | |
|---------|--------|----------|--------|--------|---------|--|
| | R1.7～9 | R1.10～12 | 前期との比較 | R2.1～3 | 今期との比較 | |
| 売上額 | -10.9 | -18.6 | ↓ | -13.9 | ↑ | |
| 原材料仕入単価 | 47.8 | 51.2 | ↑ | 41.9 | ↓ | |
| 採算 | -17.4 | -26.2 | ↓ | -16.6 | ↑ | |
| 資金繰り | -8.9 | -9.3 | → | -9.3 | → | |

広島 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

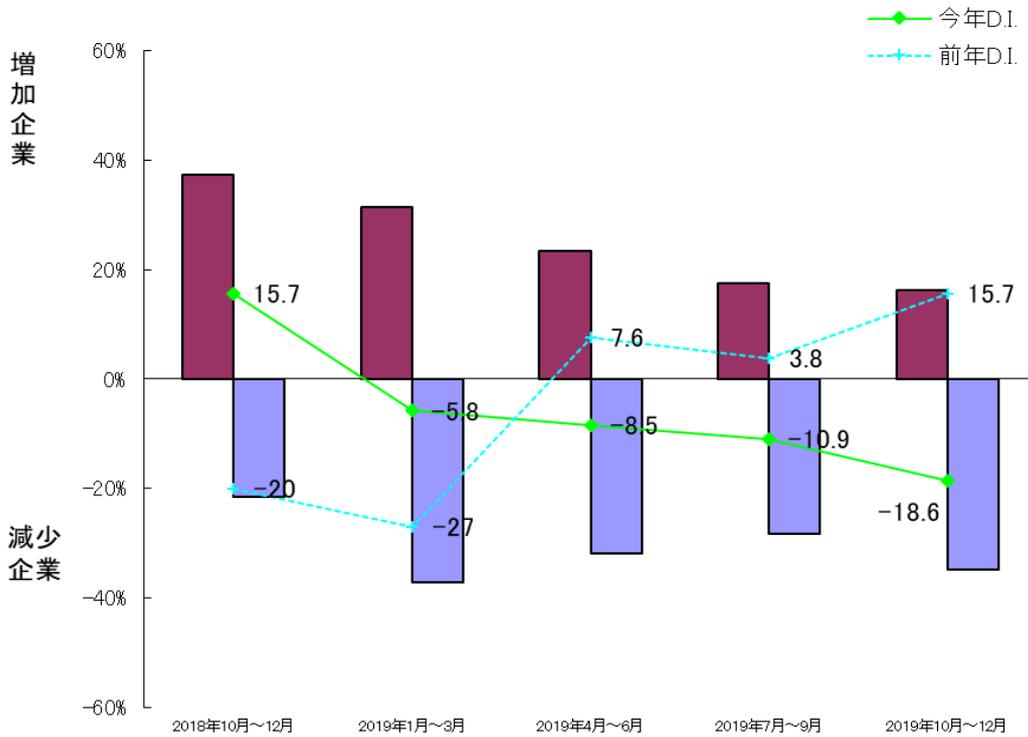
- ・ 水害の仕事が一段落し、町内の被害住宅がかなり解体されている。町全体がまだ沈んだままの様子。活気がない。新築もなく、リフォームには時間のかかる和室は無理。（その他の家具・装備品製造業）
- ・ 今期の開発計画が明確でなく、発注の山谷が多く見られた。後半にはかなり落ち着いてきたが、客先の予算の関係で今期は売上の伸びがあまり期待できないであろう。加工機、成型機の新設により来期に向け期待している。（その他の生産用機械・同部分品製造業）
- ・ 原材料価格の上昇、不足で必要以上の在庫過剰と売上減少が厳しい。（パン・菓子製造業）
- ・ 毎年世界中が災害に見舞われています。災害は被災地だけにとどまらず、そこで製作されている工場の生産ストップにより部品が供給されず、出荷出来ない状況になってます。（金属素形材製品製造業）
- ・ 消費税引き上げに伴い、消費者ニーズは低価格化しており、収益悪化要因となっている。（水産食料品製造業）

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島 製造業

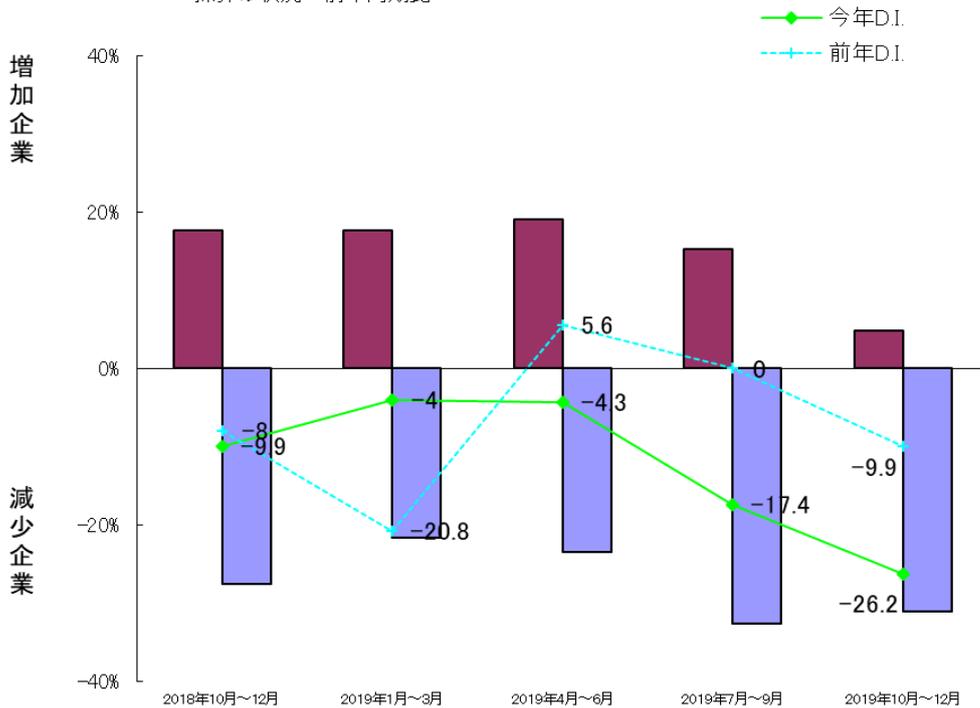
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

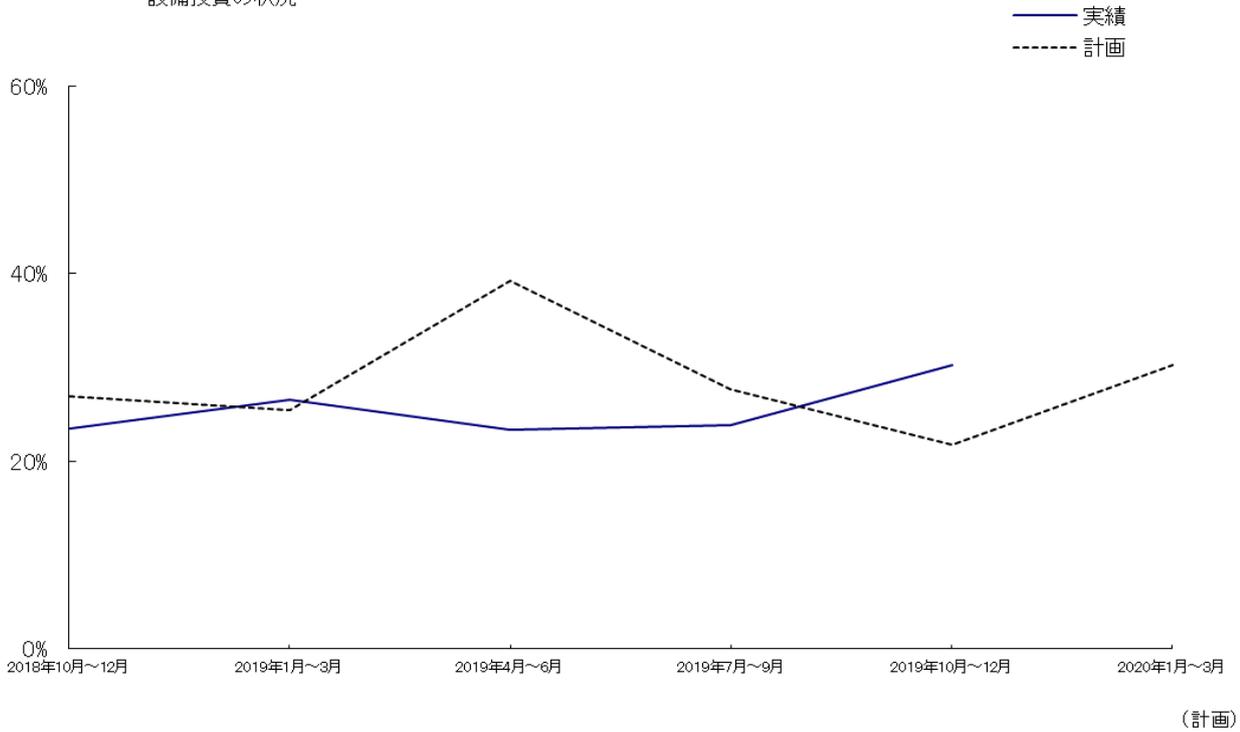
広島 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -



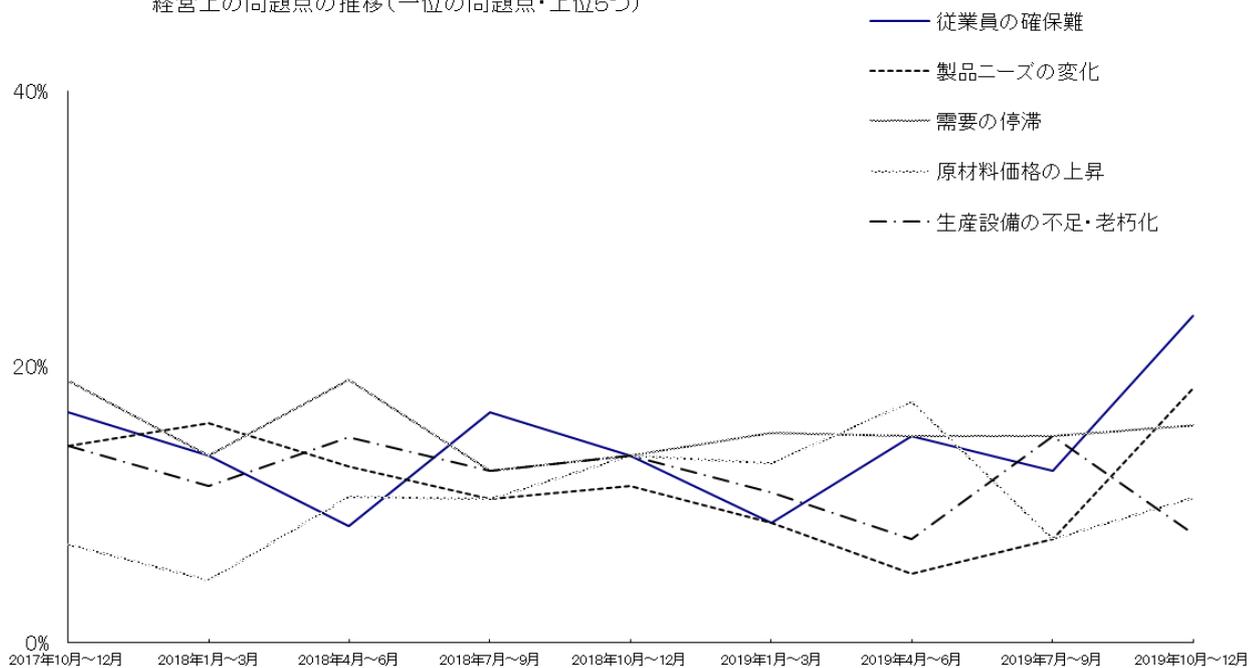
4.設備投資の状況

広島 製造業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 製造業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



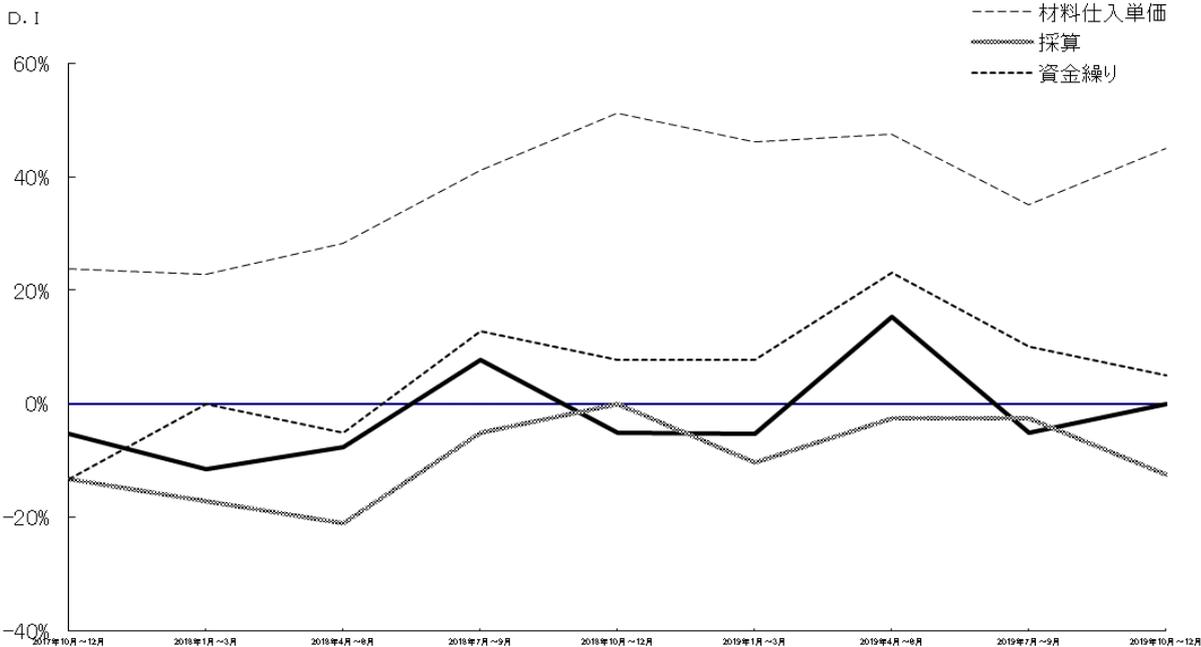
建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

| 建設業 DI | （前期） | | （今期） | | （来期見通し） | |
|----------------|------|--------|----------|--------|---------|--------|
| | 主要項目 | R1.7～9 | R1.10～12 | 前期との比較 | R2.1～3 | 今期との比較 |
| 売上額 （完成工事額） | -5.0 | 0.0 | ↗ | 2.5 | ↗ | |
| 材料仕入単価 | 35.0 | 45.0 | ↗ | 30.0 | ↘ | |
| 採算 | -2.5 | -12.5 | ↘ | -20.0 | ↘ | |
| 資金繰り | 10.0 | 5.0 | ↘ | -2.5 | ↘ | |

広島 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

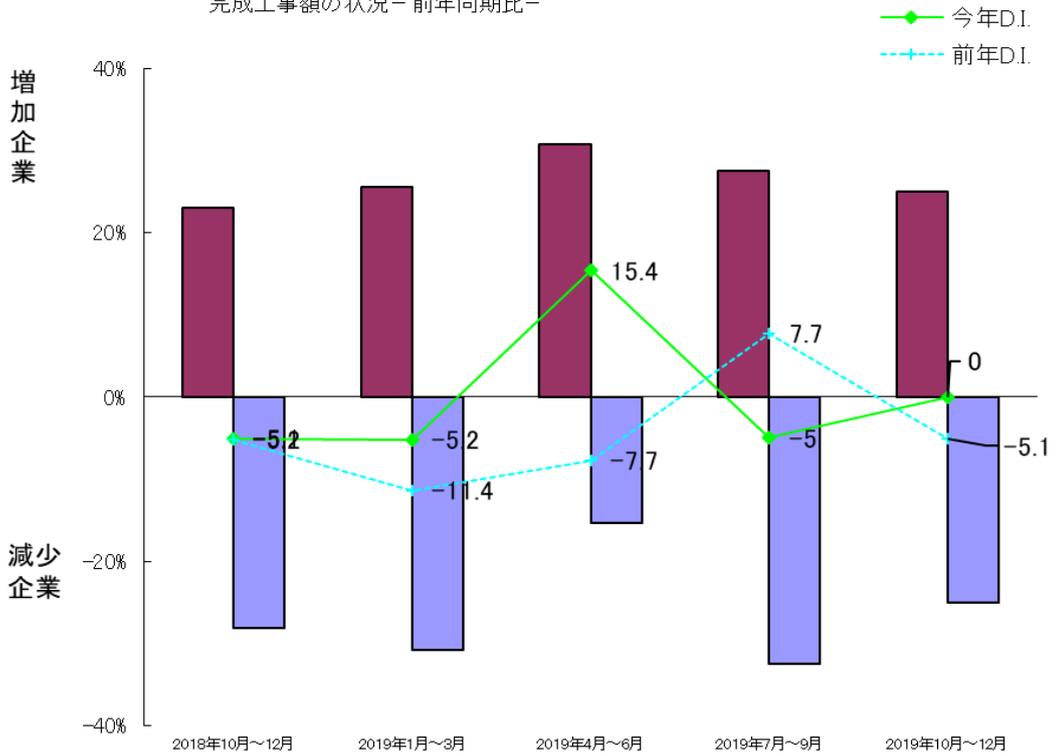
- ・ 災害復旧工事の増加により仕事の受注は増えているが、従業員の確保難で思ったような完工が出来ない。資材の不足もあり、材料費も上がっているの、利益がとれない。（管工事業（さく井工事業を除く））
- ・ 人材が確保できなかったことにより、大変困難であった。（大工工事業）
- ・ 町内で新築が建っているのを見ると、やはりメーカーばかりが目立つ。地元の工務店はなかなか新築物件に絡みづらい。（大工工事業）
- ・ 災害関連の工事が安定してある。（その他の職別工事業）
- ・ 当社の仕事内容は、大体修理なので景気に左右されず、業況は開業から変わってないです。（給排水・衛生設備工事業）

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島 建設業

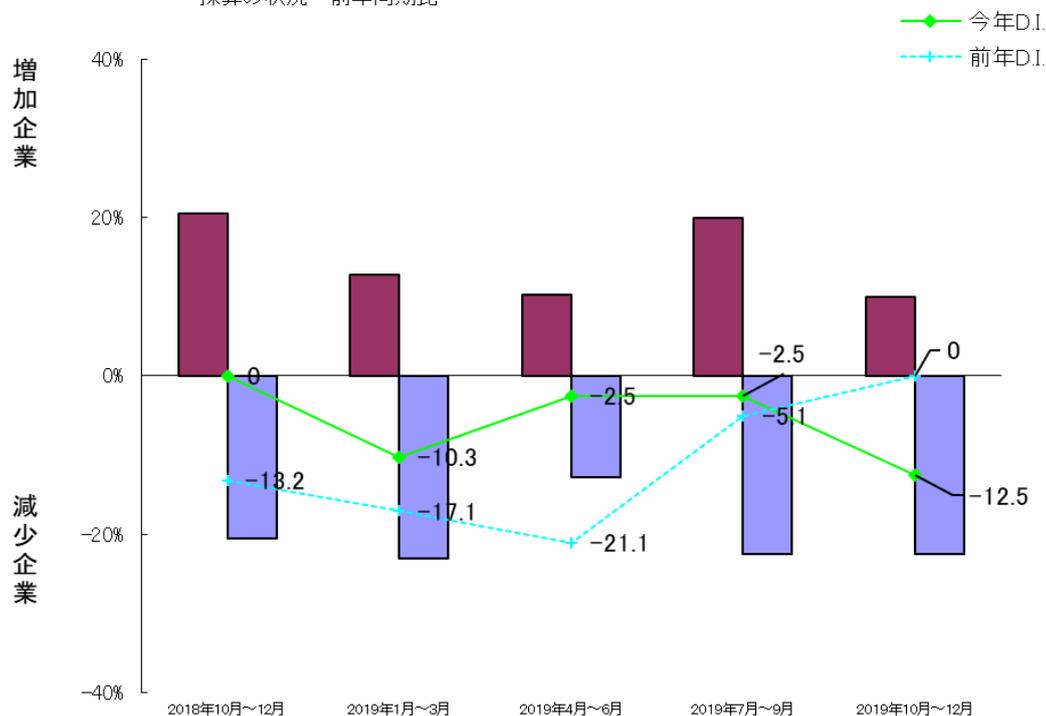
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

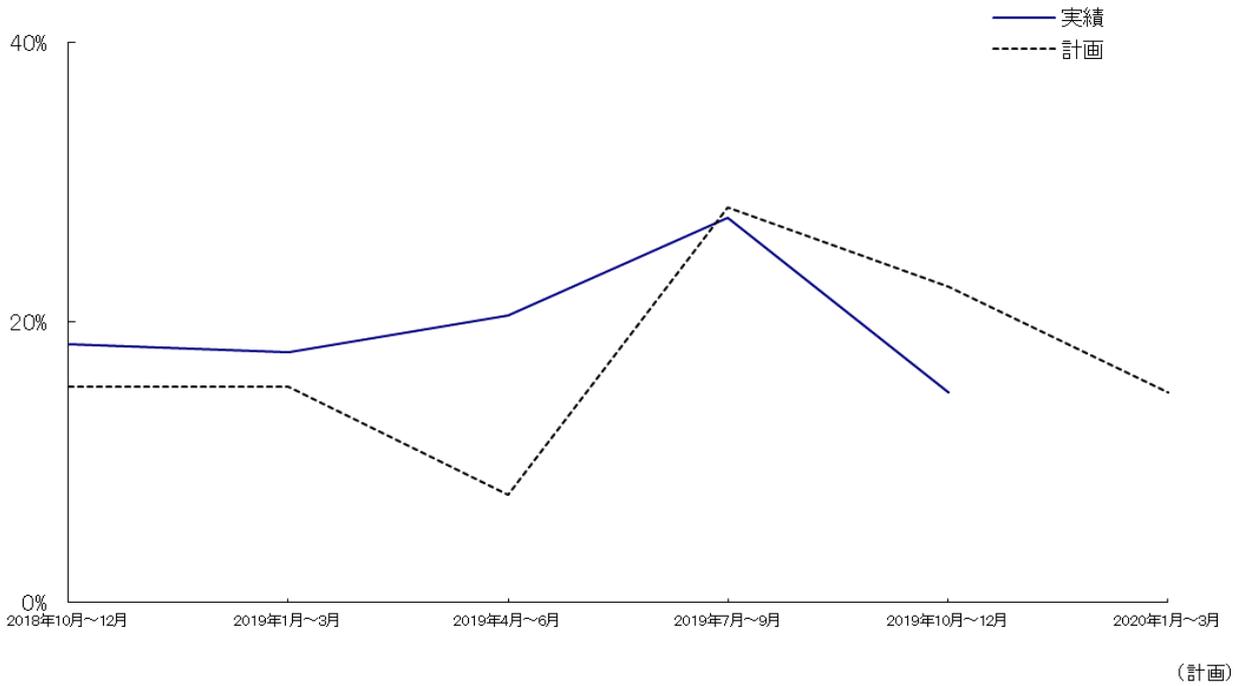
広島 建設業

採算の状況-前年同期比-



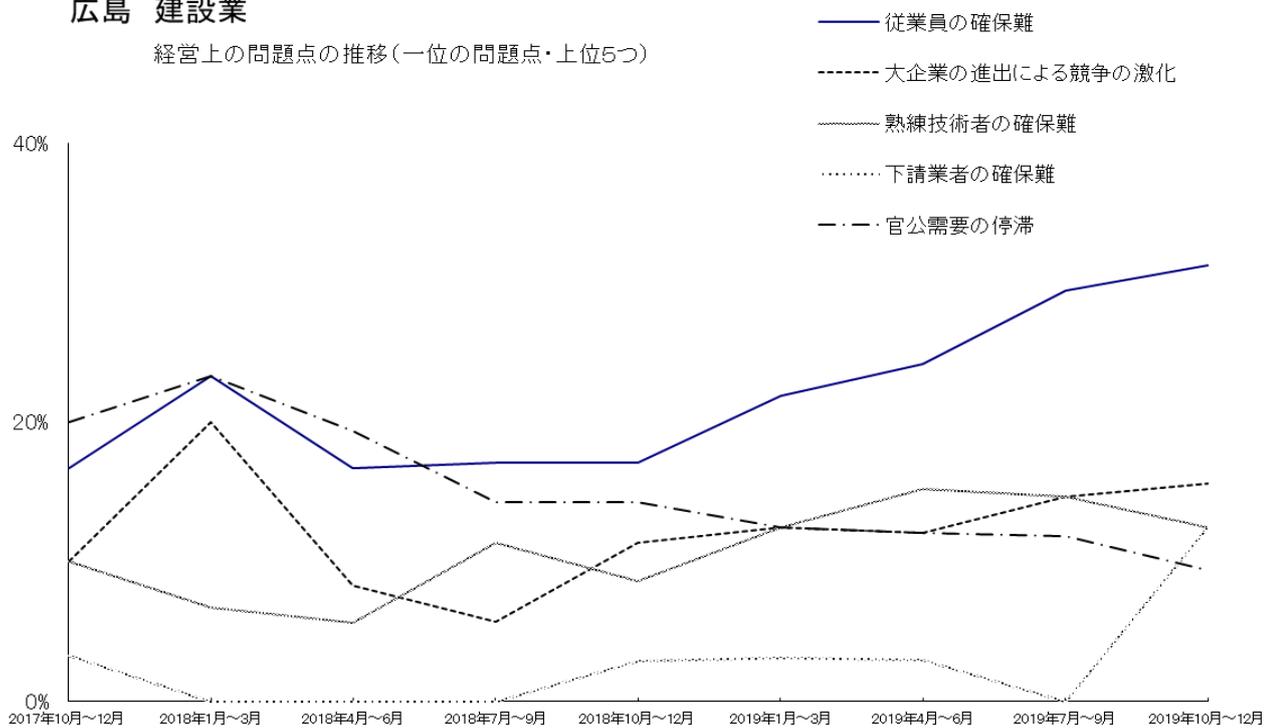
4.設備投資の状況

広島 建設業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 建設業
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）



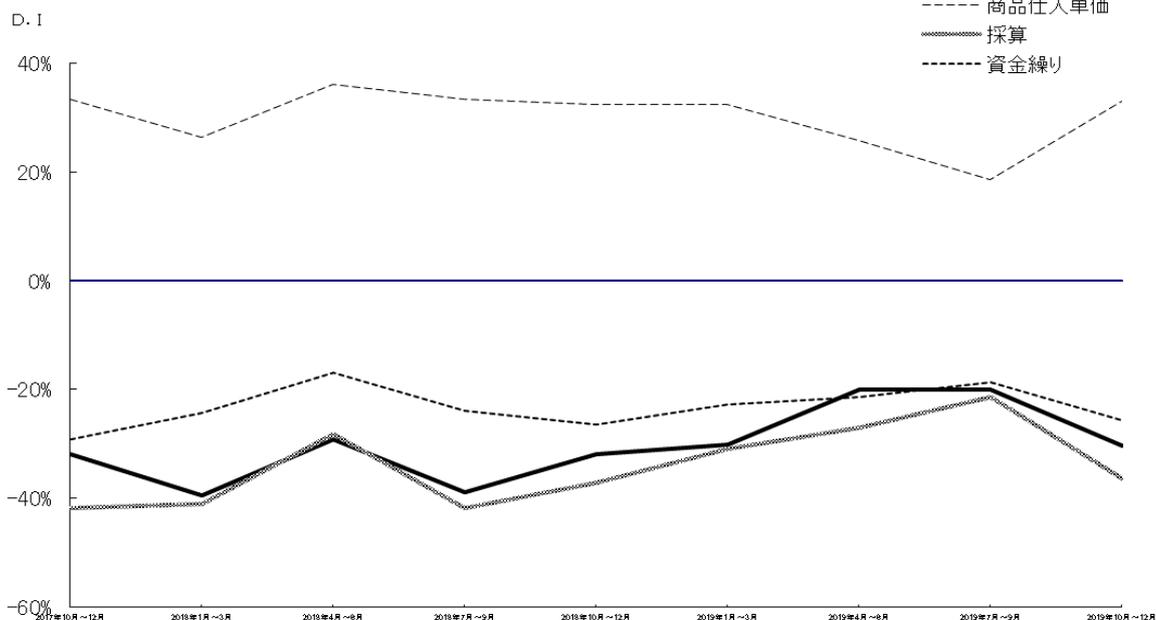
小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

| 主要項目 | （前期） | | （今期） | | （来期見通し） | |
|--------|--------|----------|--------|--------|---------|--|
| | R1.7～9 | R1.10～12 | 前期との比較 | R2.1～3 | 今期との比較 | |
| 売上額 | -20.1 | -30.4 | ↓ | -37.7 | ↓ | |
| 商品仕入単価 | 18.6 | -18.6 | ↓ | -18.8 | → | |
| 採算 | -21.4 | -36.3 | ↓ | -32.4 | ↑ | |
| 資金繰り | -18.6 | -25.7 | ↓ | -27.5 | ↓ | |

広島 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

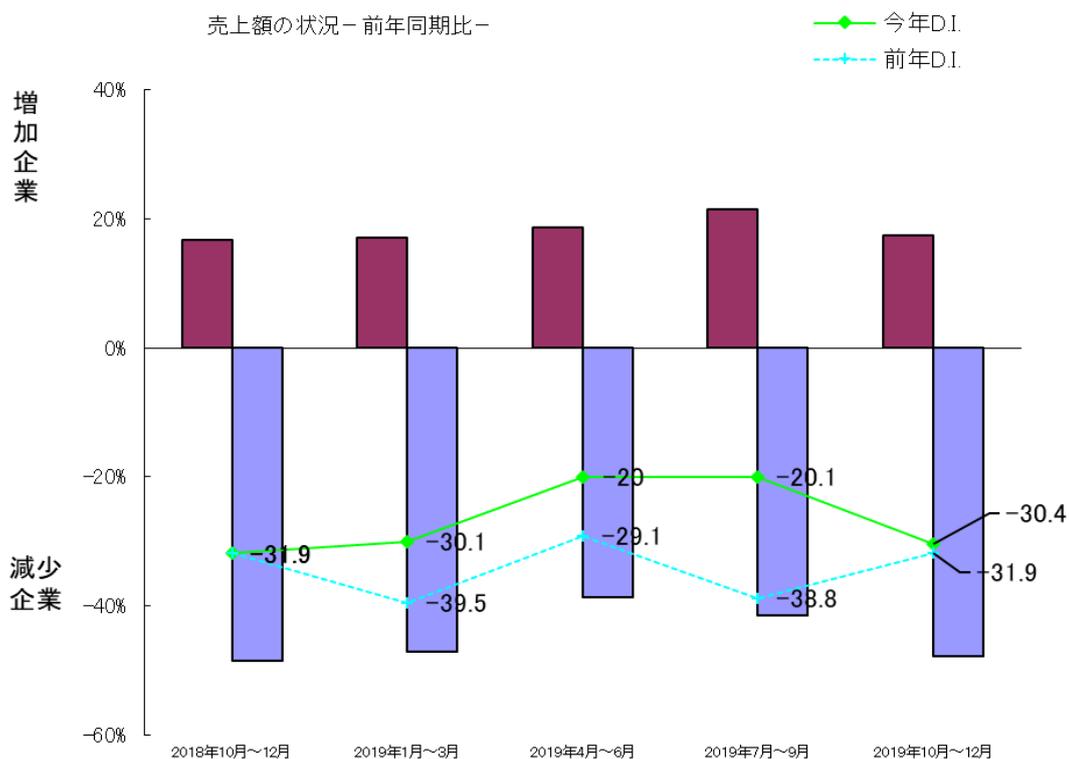
- ・ 町内に流入していた各所の工事従事者の減少に伴い、町内在住者の需要レベルにほぼ近づいている。これからが町の実力として経営にあたることになる。（たばこ・喫煙具専門小売業）
- ・ 地域の購買力の低下が著しい。年金生活者が多く、年金額が少ないので、花を買ってみようかということに繋がらない。また、働いている人も賃金が低く、花を買おうという気持ちにならない。とにかく購買力の上昇を願う。（他に分類されない小売業）
- ・ 昨年の豪雨災害の復興半ばで、消費低迷が続く中、売上高は微減であるが、客単価が上がらず、中々、利益増にはなっていない状況。10月の消費増税も影響しているのか、期待は持てていない。（酒小売業）
- ・ 昨年の豪雨後の復興需要も一服してきて、本格的に一昨年のペースに戻りつつある。この間で、労務改革や増税があり、一段と経営状況が厳しい状況になりつつある。今後は売上、利益を目指し展開する必要がある。（燃料小売業）
- ・ 消費税増税後の売上が厳しくなっている。（書籍・文房具小売業）

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島 小売業

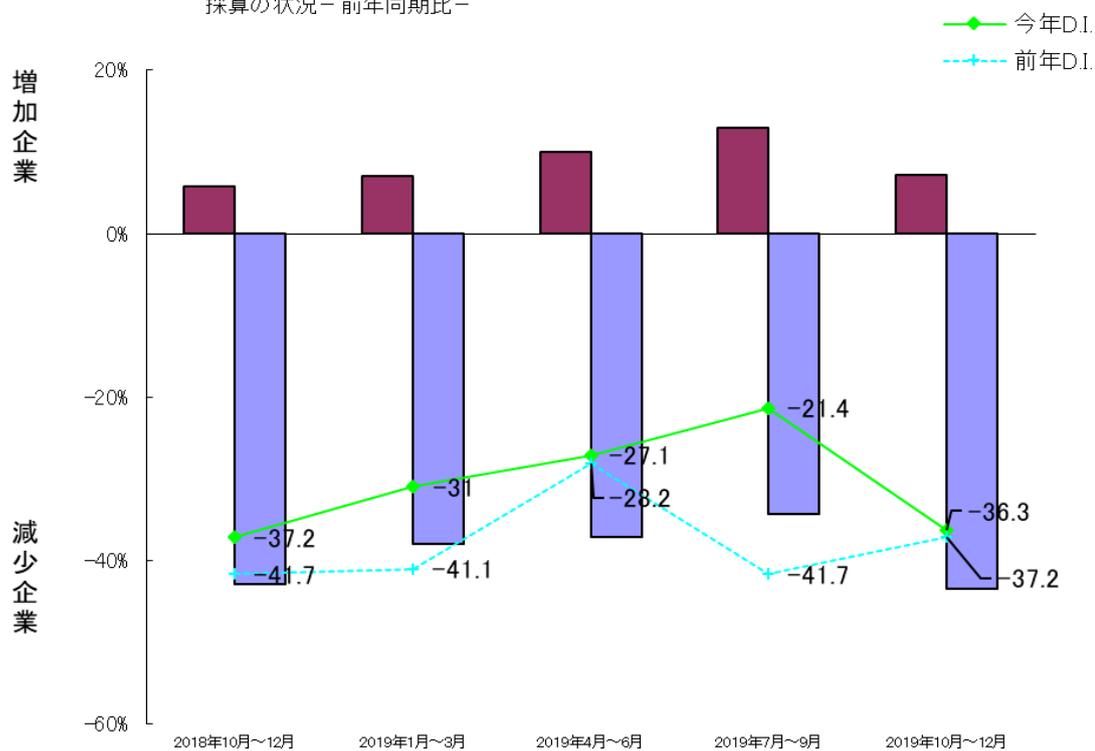
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島 小売業

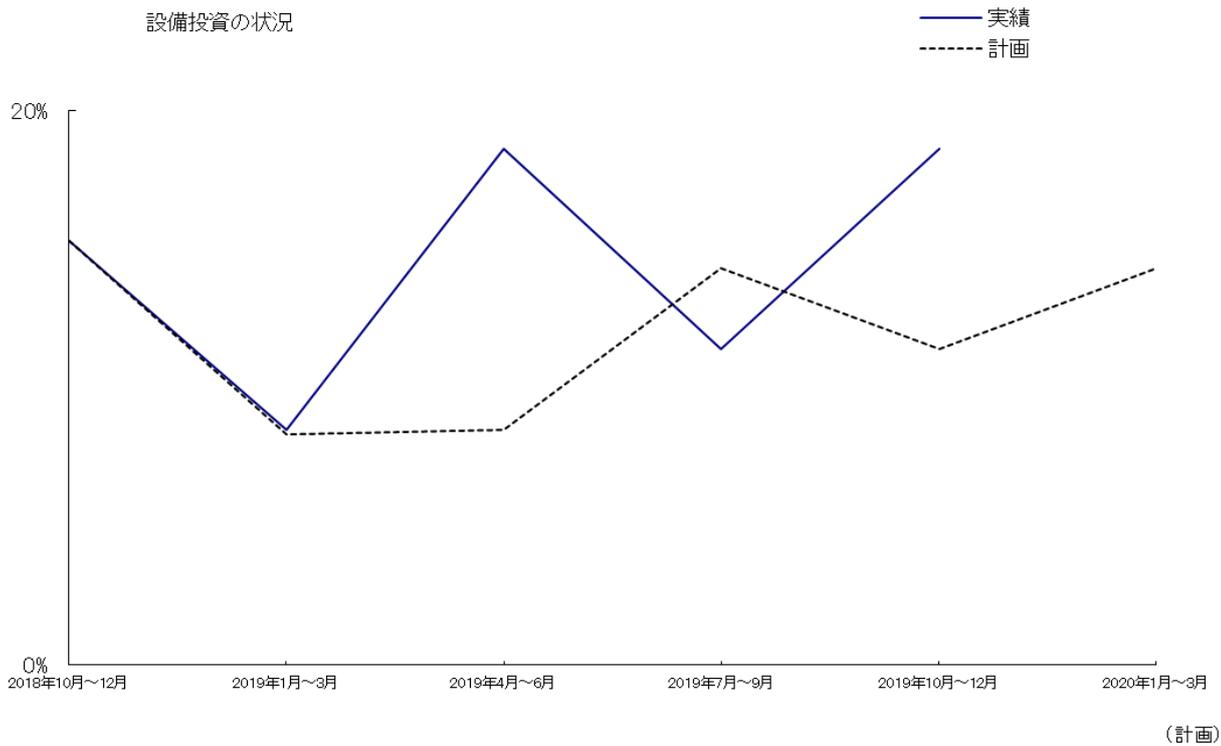
採算の状況 - 前年同期比 -



小売業（商工会地域）

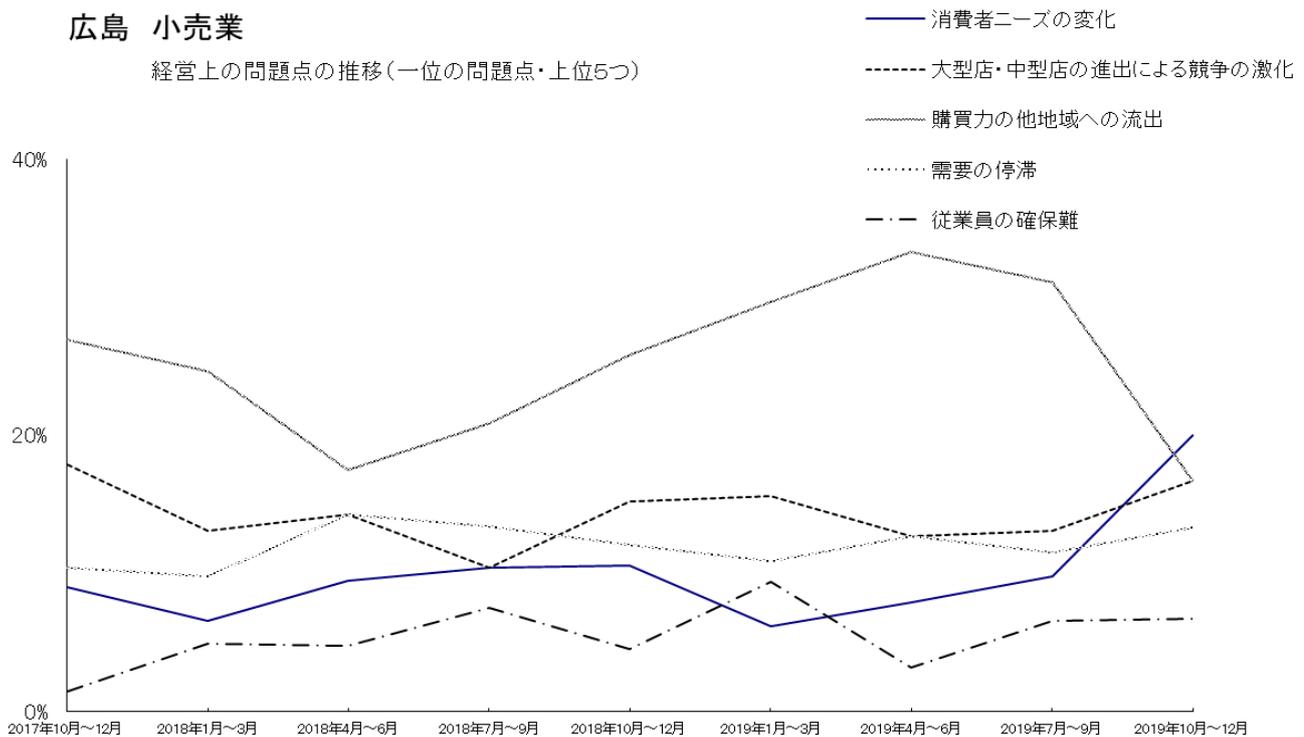
4.設備投資の状況

広島 小売業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 小売業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



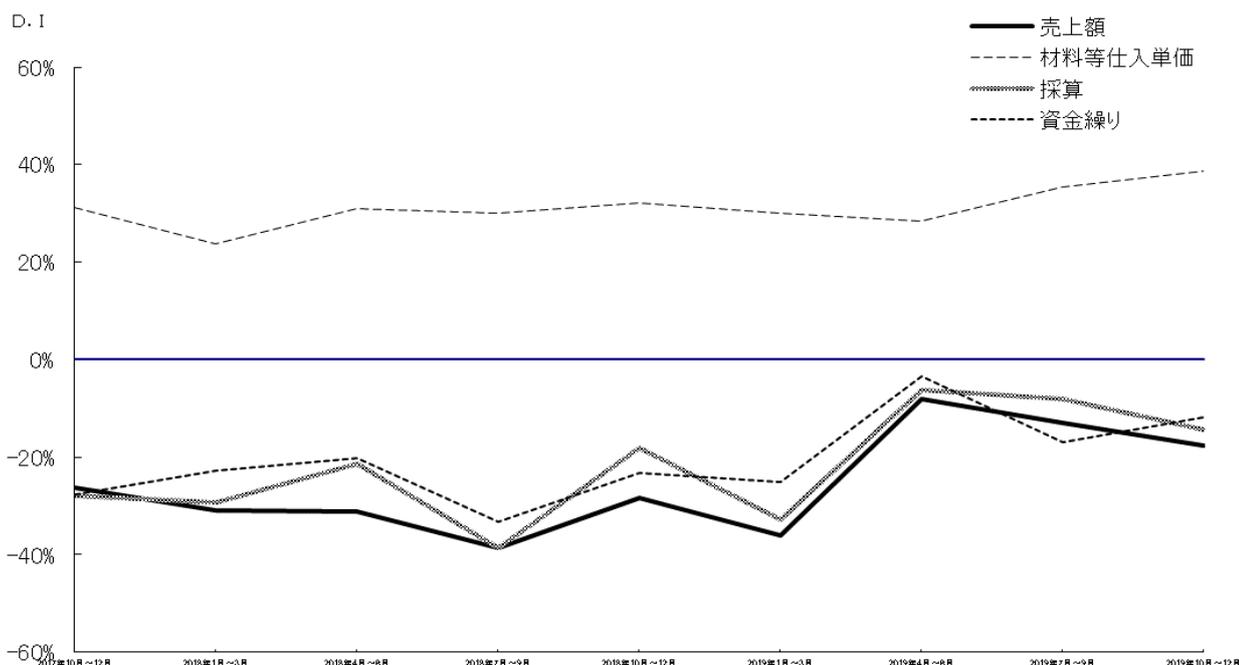
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

| 主要項目 | サービス業 DI (前期) | | (今期) | | (来期見通し) | |
|---------|---------------|----------|--------|--------|---------|--|
| | R1.7~9 | R1.10~12 | 前期との比較 | R2.1~3 | 今期との比較 | |
| 売上額 | -12.9 | -17.7 | ↘ | -11.4 | ↗ | |
| 材料等仕入単価 | 35.4 | 38.7 | ↗ | 28.4 | ↘ | |
| 採算 | -8.0 | -14.3 | ↘ | -16.4 | ↘ | |
| 資金繰り | -16.9 | -11.7 | ↗ | -6.9 | ↗ | |

広島 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

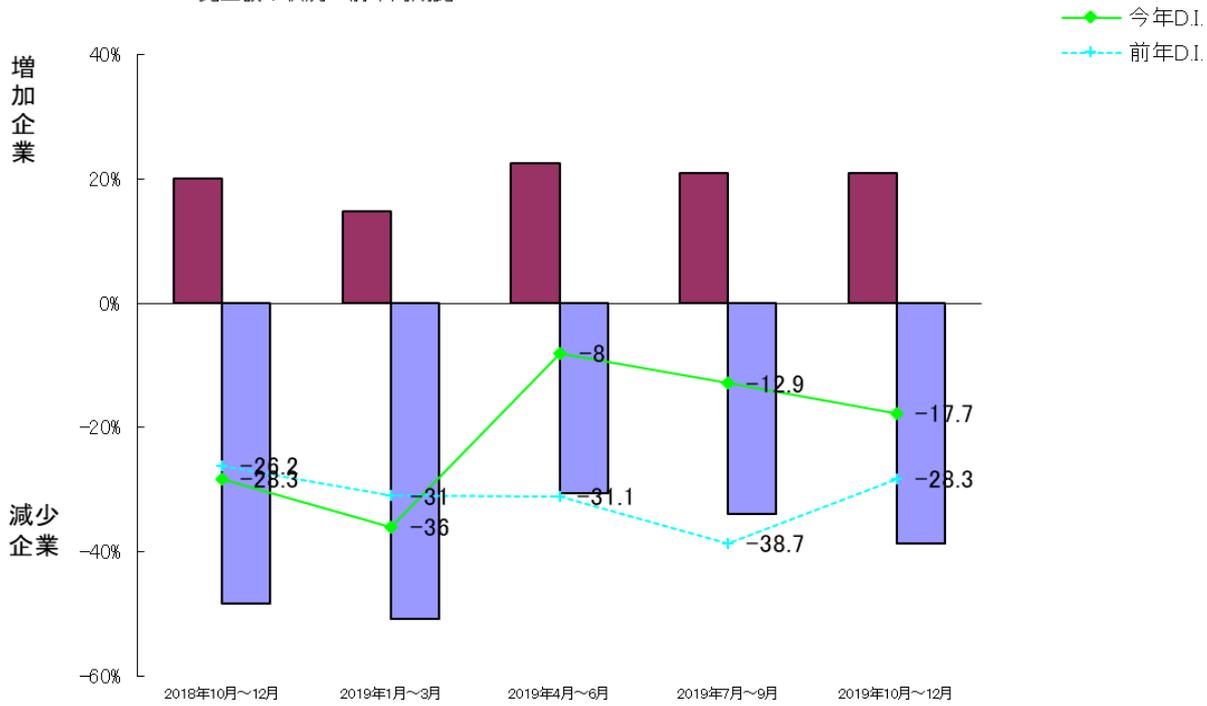
- ・ どの業種も同じだと思うが、とにかく船員が足りない。新規の設備投資をしたくても、船員がいないので、投資出来ない。物流の合理化等が叫ばれて久しいが、何も変わっていないように思う。(沿海海運業)
- ・ 昨年は水害の影響で客数が減少していたため、昨年比での計数は好転する。客数はエージェントの動きに大きく左右される。主要食材である魚・野菜の仕入単価が上がってきている。災害は仕入単価に影響を与える。(旅館, ホテル)
- ・ 仕入単価の上昇、パート時給の上昇などで採算が悪化。(日本料理店)
- ・ 高齢のお客様が増えているので客単価低下。客数も減少しているが出張カットなどの時間を考えたら時間的には今くらいが無理なく仕事が出来ている。技術の勉強もしているので、来年あたり価格の見直しを考えたいと思う。(美容業)
- ・ 新しく雇用したので人手が余る場面が増えた。採算面で悪化している。(自動車整備業)

サービス業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島 サービス業

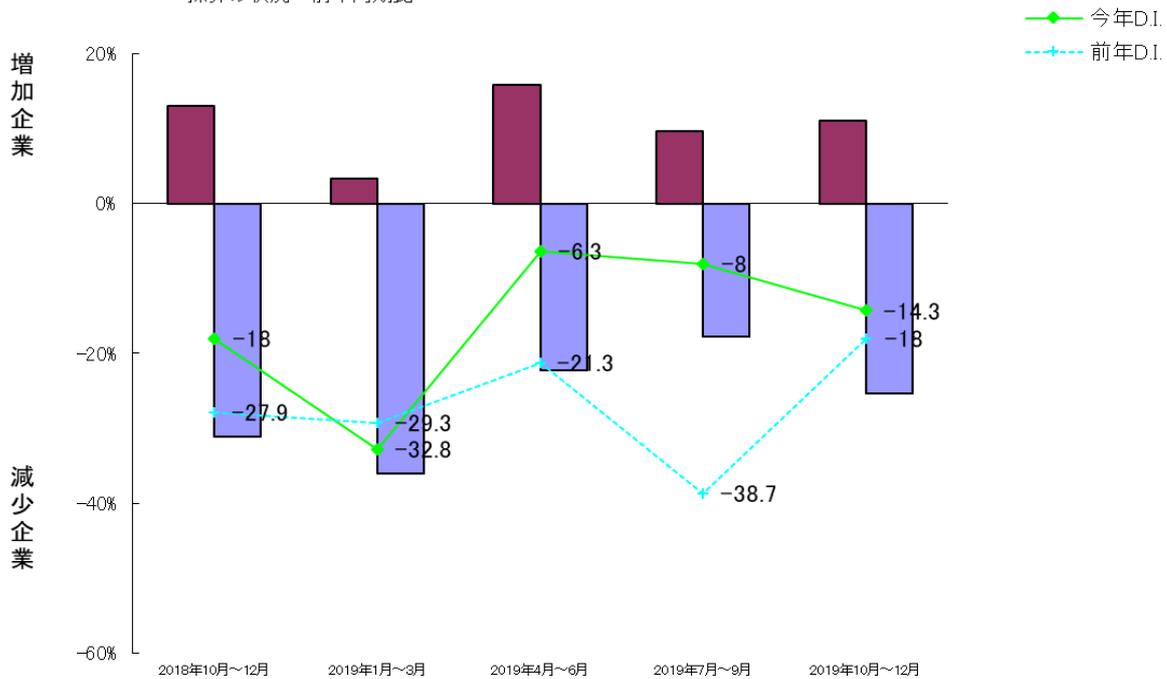
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

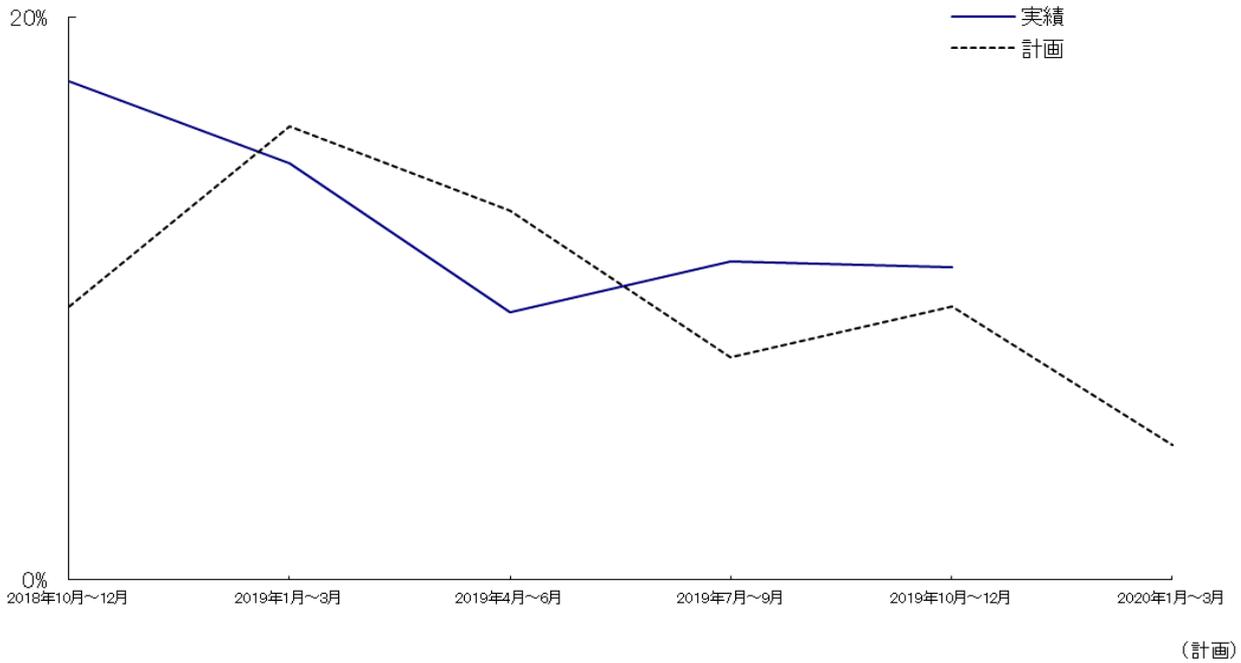
広島 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 サービス業
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つの推移）

